

Your Library, Your Den

中間考査お疲れさまでした！
1年生のみなさんは、はじめごたえあった人、予想外に…でしょうか。結果に一喜一憂すもう少し先を見据えたか活動さて、今回は7月の図書館です。興味があれば気軽に申

津高生に配布している「図書館通信」の最新号です！
毎回、行事の案内や本の紹介をしています。

INDEX

- ・4月からの貸出ベストはコレだ！
- ・津高図書館の本はネットから検索・予約できます
- ・図書館のクロームブック、放課後利用可に！
- ・ライブラリーカード・コンテストのご案内
- ・津高卒業生が書いた小説、新規追加！
- ・ビブリオバトル@津高 2021のご案内
- ・この本こんなの！

4月からの貸出ベストはコレだ！

4月以降に生徒の皆さんが何度も借りてくれている本のリストです。貸出回数5冊の本が多いので、新しい本順に6冊並べてみました。

文学 貸出回数には延長も含まます

順位	貸出回数	タイトル
1	7	52 ヘルツのクジラたち
2	6	推し、燃ゆ
3	5	赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。
3	5	100日間おなじ商品を買ひ続けることでコンビニ店員からあだ名をつけられるか。
3	5	八月の銀の雪
3	5	この気持ちもいつか忘れる

文学以外 貸出回数には延長も含まます

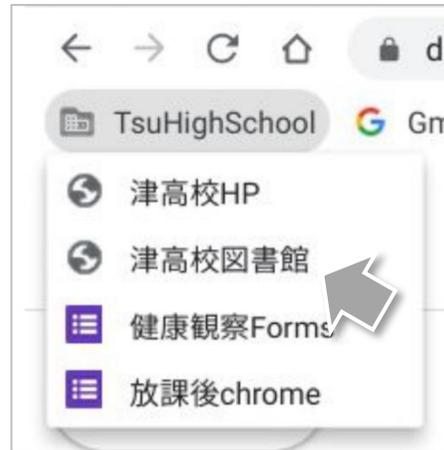
順位	貸出回数	タイトル
1	5	<現代語訳>ベスト・オブ・渋沢栄一
1	5	鳥獣戯画の国 <たのしい日本美術>
1	5	かわいい江戸の絵画史
1	5	Sleep, Sleep, Sleep
1	5	「文系?」「理系?」に迷ったら読む本 AI時代の進路の選び方
1	5	勉強が死ぬほど面白くなる独学の教科書

津高図書館の本はネットから検索・予約できます

津高図書館の本は、ウェブ上で公開しています。生徒の皆さんはどこにいても図書館の本を検索し、予約することができます。

みなさんが授業や探究で使う Chromebook のブラウザのブックマーク「TsuHighSchool」に津高図書館のリンクを設置してもらいました。気軽に利用してみてください。

Chromebook のブラウザから



スマホから



図書館のクロームブック、放課後利用可に！「放課後 Chrome」

17時まで館内で利用できた chromebook が、19時まで館外に持ち出せるようになりました。

- ・校内などどこで使ってもOK
- ・下校時間（19時まで）使ってもOK
- ・次の日に返却でOK

※自宅への持ち帰りはNG、申請なしで3日以上の利用もNGです

借りるときに専用フォームから申請してもらいます。ブラウザのブックマーク「放課後 Chrome」からどうぞ。



ライブラリーカード・コンテストのご案内

皆さんが図書館の本を借りるときに使っているカード（ライブラリーカード）は、3年前のコンテストで優勝した正戸鈴夏さん（昨年度卒業）の作品です。

そして今年度、令和4年度から3年間使うカードデザインを募集します！投票で見事一位になると、名前（クレジット）付で来年から新入生に配布します。もちろん本人には新デザインのカードを贈呈します！

あなたの作品を、新入生が使うと思うと、ワクワクしませんか？イラスト、写真、書、タイポグラフィ、なんでも可です。たくさん作品、待っています。

あなたの作品(イラスト、タイポグラフィ、写真、書 etc)が図書館カードになる!?

ライブラリーカード・コンテスト作品募集

津高図書館で本を借りてもらうときに提示する「ライブラリーカード」。このカードの来年度以降の表紙デザインを皆さんから募集します。募集作品の中から、生徒・教職員による投票を行い決定します。新入生全員が持つカードに、あなたの作品を残してみませんか？応募お待ちしております。

令和3年
募集期間：9月14日(火)まで

募集作品：あなたが制作した「津高・津高図書館ならではの」作品

- ①応募できるのは自分自身が制作した作品に限ります。インターネットや既存の著作物からの複写物を無断で利用すると、著作権法違反となる恐れがあります。
- ②肖像権その他の権利は、応募者の責任において処理したうえで応募してください。



令和4年度から6年度までの新入生全員に配布します。



カード裏面（現在）

希望すれば、採用された人の著作権表示も行います。

応募方法等、詳細はこちら

掲示物
2021.9.15まで

津高出身者が書いた小説、追加!

四日市高校出身の伊吹有喜さんの本屋大賞ノミネート作『犬がいた季節』が四日市周辺で話題になっています。もちろん、津高校出身の作家さんもいます。津高出身の作家さんの本、増やしました！

貴族に転生したけど、引きこもって研究したいんです!



浅田千恋 / 著
宝島社 2020.9 913.6

第7回ネット小説大賞受賞作！脳筋一族の娘に転生した元研究者が、周囲の思惑なんのその、理想の引きこもり研究生活を目指し突っ走る！

本の表紙画像と書誌情報は「OpenBD プロジェクト」を使っています。「openBD 書誌情報・書影を自由に」(https://openbd.jp/)

津高出身、秋川滝美さんご本人から「津高生のために」と新刊をご寄贈いただきました!!



知的書評合戦@津高 ビブリアバトル 2021

05:00

プレゼンタイム

7月8日(木) 16:00-17:00

津高図書館 閲覧室

7/1まで
バトラー
募集中!

バトラー 募集!!

(本を紹介する人)

見事
「チャン
本」に
選ばれると

あなたのオススメ本が 津市の本屋さん並びます!

ビブリアバトルは誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。順番に一人5分間「自分が面白いと思った本」を紹介し、最後に「どの本が一番読みたくなかったか」で投票を行い、「チャン本」を決定します。

今回、3年ぶりに津高大会を開催します。あなたの紹介した本が「チャン本」に選ばれると、津市内の書店にあなたの紹介した本のコーナーを作ります。希望すれば、あなたの名前やオススメコメントも紹介します!

本の紹介者として参加したくなったら、ぜひ図書館までどうぞ!

津高図書館

掲示物

2021.7.9まで

この本こんなの!

世界は思考で変えられる

自閉症の僕が見つけた「いつもの景色」が輝く43の視点

東田直樹/著 河出書房新社 2020.11

世界的ベストセラー『自閉症の僕が跳びはねる理由』の著者、書き下ろし。会話ができない自閉症作家による、視点を変えることで、悩みが悩みでなくなるための考え方。

1つの見方だけでなく、いくつもの見方視点があるのはとても大事だったと思った。確かに、と思える視点がたくさんあって、この本を読んだ後、少しだけ見方を変えることができた。

生徒より

生き物の死にざま



稲垣栄洋/著
草思社 2019.7

すべては「命のバトン」をつなぐために——。子に身を捧げる、交尾で力尽きる、仲間の死に涙する……。限られた命を懸命に生きる姿が胸を打つエッセイ!

生きること、死ぬことについて、とても深く考えさせられる本でした。人間以外の生物は皆、「今」を生きていて、壮絶な環境の中で苦しい思いをする生物も、今この瞬間のために懸命に生きているのだと気づかされました。人間以外の生物には感情がないという学者もいますが、私は全ての生物に心があり、与えられた命を大切に生きようとしていると思います。この本は生物とは何か教えてくれるものだと感じました。

生

エレジーは流れない

三浦しをん/著 双葉社 2021.4

海と山に囲まれた餅湯温泉。団体旅行客で賑わっていたかつての面影はとうにない。のどかでさびれた町に暮らす高校2年生の怜は、複雑な家庭の事情、迫りくる進路選択、自由奔放な友人たちに振りまわされ、悩み多き日々を送っている。そんななか、餅湯博物館から縄文式土器が盗まれたとのニュースが……。

「創作物や大人がすぐ夢の話をするのはその方がなんとなく収まりがつくからだと思う」夢のない自分にとって、夢は持たなきゃいけないと思いついていた部分に気づかされた一文だった。夢に向かって努力する人に感銘を受けてきたことも事実なので、完全同意はできないが、そういう一面もあるのかもしれない、と違う角度から見れて良かった。

生



十角館の殺人
綾辻行人/著
講談社 2007.10

最終章で「やられたっ!」と叫んじゃう作品たち



medium
霊媒探偵城塚翡翠
相沢沙呼/著
講談社 2019.9

402 ページのたった1行に驚愕しました。最後の種明かしを読んで、「本土」の重要な役割があると分かり、もう一度読み返してしまう作品でした。

読み終わったとき「やられた!」「全てが伏線」ってそういうことだったのか!!と叫びそうになりました。真相を考えながら読んでみてください!

岡潔 数学を志す人に



岡潔/著
平凡社 2015.12

世界的数学者でありながら、日本人の心性や情緒に洞察を深め、多くの文章を遺した岡潔。世代を超えた人気を集める岡の随想を一冊で。

数学に対する自分の考え方が変わった。自分にとってとても役に立った本だった。

生

ツナグ 想い人の心得



辻村深月/著
新潮社 2019.10

死者との再会を叶える使者「ツナグ」。長年務めを果たした最愛の祖母から歩美は使者としての役目を引き継いだ。7年経ち、社会人になった彼の元を訪れる依頼者たちは、誰にも言えぬ想いを胸に秘めていた——。

「自分の前で見せてくれる顔がその人のすべてではないのは当たり前と分かっていても、その人はいなくなってしまうと、自分が知らなかった顔の方が大きく感じてしまう。そうすると、自分の中の「その人」までも揺らいでしまうような不安や寂しさがある」。主人公の歩美は近しい人を亡くし揺れ動く。身近な人の知らない表情を見る度、抱えていた葛藤が、この二文に重なった。言葉にできなかった気持ち、表されている気がして嬉しくなった。歩美の心の着地点も見事で、人間は多面性を持つけれど、それも含めて相手と自分との関係を大切にしていきたいと思った。

生